

ブラインドサッカー わたしの「押し」ポイント

2006年からブラインドサッカーをサポートしているアクサの社員に聞きました！
ブラインドサッカーの試合を観た時の感想、気づき、衝撃をひとことで。



第22回
アクサブレイブカップ
ブラインドサッカー®日本選手権

AKA

BRAVE CUP

選手の声

BLIND SOCCER

ぶっかかりあう音。

ゴールに響くのは、勇気だ。

JAPAN CHAMPIONSHIP



予選ラウンド 11/22 @ 葛飾 葛飾区水元総合スポーツセンター 多目的広場 11/16 @ 広島 広島文教大学 サッカー場
準決勝ラウンド 12/22 @ 浜松 サラグリーンフィールド (浜北平口サッカー場) FINALラウンド 25.2/8 @ 町田 町田市立総合体育館



日本一の“勇者”を決める ブレイブカップ

特定非営利活動法人日本ブラインドサッカー協会 理事長
金子 久子



「アクサ ブレイブカップ ブラインドサッカー日本選手権」は、今回で第22回目となります。22チームが参加して開催されることを大変うれしく思います。

この日本選手権は、ブラインドサッカーのクラブチーム日本一を決める最も歴史のある国内最高峰の大会です。4会場、6日間、32試合の熱戦が繰り広げられます。今回の予選ラウンド会場としては、葛飾では初開催、広島では第19回大会以来の開催です。3年連続の開催地となる浜松の準決勝ラウンド、町田のFINALラウンドと、どんなドラマが生まれるのかワクワク感が止まりません。各地に多くの観客が訪れてくれることを願っています。

日本ブラインドサッカー協会では、ビジョンに「視覚障がい者と健常者が当たり前前に混ざり合う社会」を掲げていますが、見えない人と見える人が一緒にプレーするブラインドサッカーは、既にピッチ上にインクルーシブな社会が具現化されている競技でもあります。今後も、ブラインドサッカーの価値を提供できるものと確信しています。

ブラサカは新たな挑戦へ！ ともに未来をつくろう

アクサ・ホールディングス・ジャパン株式会社 代表取締役社長兼 CEO
安測 聖司



本年もブラインドサッカーの国内最高峰である「アクサ ブレイブカップ ブラインドサッカー日本選手権」をサポートできることを大変光栄に思います。今大会は全国から22のチームが出場し、11月の東京葛飾での予選を皮切りに、広島、浜松の各会場、そして来年2月の東京町田の決勝戦会場において、熱戦が繰り広げられます。

「パリ2024パラリンピック競技大会」で世界の強豪国に果敢に挑んだ日本代表選手の姿は、私たちに勇気と感動を与えてくれました。本大会は、4年後のロサンゼルス2028パラリンピック競技大会に向け、未来の日本代表選手を育む意義深い大会です。どうか、選手とチームの皆さんに熱いエールをお送りください。

アクサは、「すべての人々のより良い未来のために。私たちはみなさんの大切なものを守ります。」というパーパスを体現すべく、責任ある企業として、地域社会の未来をつくる取り組みを進めています。日本においても、「あたりまえに混ざり合う社会をつくる」という日本ブラインドサッ

“ブラサカの未来”に向け、ブラサカファミリーとともに前進できることを誇りに思います。2017年より取り組んでいる「アクサ 地域リーダープログラム with ブラサカ」で、その輪と裾野が広がり47都道府県にクラブチームができること、そして各チームにとって日本選手権がさらに光り輝く魅力的な憧れの舞台になること。この双方向のアプローチが重要であると考えています。プログラム受講チームの中から本大会ではミカレ岐阜が初出場します。

大会は、実に多くの方々に支えられています。あらためて、メインサポーターのアクサはじめ大会に携わったすべての皆様に感謝いたします。パリパラリンピックで躍動した男子日本代表選手も、それぞれのクラブチームから出場します。

本大会は、ブラインドサッカーの楽しさや面白さ、迫力やスピード感のあるプレーを身近に感じていただける絶好の機会と捉えています。キャッチコピーは、「選手の声、ぶつかりあう音。コートに響くのは勇気だ。」です。皆さん、試合会場でお会いしましょう！

カー協会のビジョンに共鳴し、2006年から同協会とソーシャルインクルージョンの実現を目指す取り組みで協働しています。2017年からは「アクサ 地域リーダープログラム with ブラサカ」をサポートし、全国各地でのクラブチームの立ち上げ支援を継続しており、今大会においても第2期プログラムの受講チームが初出場を果たすなど、ブラインドサッカーの輪が確実に全国に広がっています。

「パリ2024パラリンピック競技大会」によって高まったソーシャルインクルージョンの機運が、この「アクサ ブレイブカップ ブラインドサッカー日本選手権」を通じて、さらに大きなムーブメントとなって加速していくことを願ってやみません。全国22のクラブチームの皆さんが、競技の持つ魅力と社会的な価値を、全力でひたむきなプレーの中で体現してくださることを心から熱望するとともに、本大会を支えてくださるすべてのステークホルダーの皆さまのご尽力に感謝申し上げます。

AXA♡JBFA

アクサがブラサカを応援する理由。

“視覚障がい者と健常者が当たり前前に混ざり合う社会の実現”を目指して。

アクサは、人々の暮らしに安心と安全をお届けし、社会の持続的な発展をサポートするという使命を果たしていくこそが企業の社会的責任であると考えています。日本ブラインドサッカー協会(以下JBFA)が掲げる「視覚障がい者と健常者が当たり前前に混ざり合う社会の実現」という理

念に共鳴し、2006年より支援を続けてきました。本大会は、アクサ・ホールディングス・ジャパン株式会社が全面的にサポート。今後も、一人ひとりの個性が輝く社会の実現を目指して活動していきます。

勇者の証 ～大会ロゴについて～

本大会のロゴマークにゾウの骨格がデザインされているのをご存知ですか？視力が非常に弱いと言われているゾウ。彼らは低周波を発し、体や声を駆使して仲間と意思疎通を図るそうです。普段は温厚な性格ながら、仲間を傷つけるものには一変して攻撃的に。走ると40km/hものスピードが出て、ライオンですらゾウを恐れるのだとか。厳しい自然界で自分たちらしく生き抜くゾウの姿は、ブラサカ選手の姿に重なります。「見えない」ことをものともせず、仲間とともに勝利に向かって突き進む—そんな勇者たちの象徴として、ゾウの骨格がロゴマークに取り入れられています。



大会概要

大会名	第22回 アクサ ブレイブカップ ブラインドサッカー日本選手権
主催	特定非営利活動法人日本ブラインドサッカー協会
共催	葛飾区(予選ラウンド(葛飾))／浜松市(準決勝ラウンド)
後援(予定)	厚生労働省／スポーツ庁／公益財団法人日本パラスポーツ協会／公益財団法人日本サッカー協会／一般社団法人日本障がい者サッカー連盟／東京都(FINALラウンド・予選ラウンド(葛飾))／静岡県(準決勝ラウンド)／一般財団法人 静岡県サッカー協会(準決勝ラウンド)／一般財団法人 静岡県サッカー協会 西部支部(準決勝ラウンド)／広島県(予選ラウンド(広島))／広島市(予選ラウンド(広島))／町田市(FINALラウンド)／東京商工会議所葛飾支部(予選ラウンド(葛飾))／広島商工会議所(予選ラウンド(広島))／浜松商工会議所(準決勝ラウンド)／町田商工会議所(FINALラウンド)
協力	佐倉市(サイドフェンス)(予選ラウンド(広島)) Hamamatsu Burasaka Supporters Group(準決勝ラウンド) 公益財団法人日本ケアフィット共育機構(FINALラウンド)
実行委員会	第22回 アクサ ブレイブカップ ブラインドサッカー日本選手権運営委員会

メインサポーター
アクサ・ホールディングス・ジャパン株式会社



JBFA パートナー



オフィシャルサプライヤー



サプライサービスパートナー



大会事務局

特定非営利活動法人日本ブラインドサッカー協会
〒169-0073 東京都新宿区百人町2-21-27
ベアーズビル3階 TEL:03-6908-8907



大会期日及び会場

予選ラウンド	11/25 ^日 - 3 ^日 @葛飾	葛飾区水元総合スポーツセンター 多目的広場	11/16 ^日 - 17 ^日 @広島	広島文教大学 サッカー場
準決勝ラウンド	12/22 ^日 @浜松	サーラグリーンフィールド (浜北平口サッカー場)	FINALラウンド	25.2/8 ^日 @町田
				町田市立総合体育館

大会形式

【予選ラウンド】	22チームが2会場に分かれて開催。さらに各会場4グループに分けて開催。3チームのグループは3チーム総当たり形式で行い、2チームのグループは、2チームによる2試合を行う。
【準決勝ラウンド】	予選ラウンドの各グループ1位のチーム、計8チームが準決勝ラウンドに出場。4チームずつのトーナメント形式とし、準決勝まで実施する。
【FINAL ラウンド】	準決勝を勝ち上がった1位チームで決勝戦を実施。2位チーム同士で3位決定戦を実施する。

※いずれも出場権を持っているチームが辞退の場合は、次位のチームにその権利が移動する。

ブラインドサッカーの日本一が決まる！ 全国から22チームが集結！！

全国のブラインドサッカーチームの頂点を決める「アクサ プレイブカップ ブラインドサッカー日本選手権」。2003年に「第1回日本視覚障害者サッカー選手権大会」としてスタートした日本選手権は今回で第22回大会を迎えます。第1回大会は出場4チームで始まった日本選手権、第22回の今大会は22チームが出場します。大会日程も第1回大会は1会場1日開催でしたが、今大会は予選ラウンドを東京都葛飾区、広島県広島市の2会場、準決勝ラウンドを浜松市、FINALラウンドを町田市の計4会場6日程で開催をします。日本一の栄冠を手にするのはどのチームなのか。ぜひ会場で熱い闘いをご覧ください！

■ アクサ 地域リーダープログラム with ブラサカ 参加チーム



北海道
ナマラ北海道

ナマラ北海道は札幌市を拠点に活動するブラインドサッカーチームで、元コンサドーレ札幌の芳賀 博信氏の呼びかけで結成されました。視覚障がいの有無に限らず、現在は10代から60代までの男女混合のメンバーが在籍しています。



宮城
コルジャ仙台

とにかく一戦一戦を全力で戦っていきたく思います。また、さまざまな素晴らしいチームと対戦できることに感謝しプレーし、1つでも多く勝てるよう頑張ります。



茨城
Avanzareつくば

視覚に障害のある人が学ぶ筑波技術大学 保健科学部の学生を中心としながら、社会人も所属するチーム。2005年結成。チーム名はイタリア語で「前進する」の意。



埼玉
埼玉T.Wings

埼玉県内を拠点に練習会や体験会をしています。プレーは楽しく、時には熱く、コートの外では愉快なチームです。



東京
品川CC
パベレシアル

品川エリアで活動する総合型地域スポーツクラブの中で活動するチームです。パベレシアルは「特別な欠かせない役割」を意味し、チームメンバー全員がそれぞれの役割に全力で取り組み日本一を目標に活動しています。



東京
ソイエ葛飾

「笑顔・笑い」を合言葉にブラインドサッカーを楽しもうと2020年3月に結成したチームです。粋な葛飾の地で、サッカーを楽しみいろいろな人とかわりあいながら、笑顔で繋がる絆を大切にしていきます。



東京
乃木坂ナイツ

「水曜の夜は乃木坂」を合言葉に、楽しむことをモットーにしています。視覚障がい者のスポーツ環境を広げようとするブラインドスポーツクラブとして活動しています。2011年3月10日創立。



東京
free bird
mejirodai

チームのビジョンの一つに「全員攻守で多彩な技術・戦術を駆使し、世界で勝てるサッカーを目指す」を掲げ、パラリンピックに4人の選手を輩出するまで成長してきました。日本選手権2連覇を目指し戦いますので、ぜひ会場に応援に来てください！



東京
たまハッサーズ

「たま」は「多摩」を指し、「ハッサーズ」の「ハッサ」はアラビア語に由来し、英語の"sense", "sensation"に近い言葉です。言ってみれば、「多摩の目立ちたがり」です。目指すはいつでも世界一！ブラインドサッカーの可能性を追求し続けるプレイで魅せます。



東京
スフィダ世田谷
BFC

チーム活動を通じ、インクルーシブな社会実現に貢献しています。特徴は男女中学生から70歳代まで幅広い構成と、競技のみならず体験会や絵本読み聞かせ等の社会活動を展開していることです。練習は世田谷区や近辺で毎週末に行っています。近い将来、女子単独ブラサカチームの設立を目指します。



神奈川
buen cambio
yokohama

神奈川県唯一のクラブ。「#横浜愛 #挑戦心 #共遊心」を持ち、良い変化を起こす」という価値観を大切に、競技活動と普及活動を行っています。日本選手権では過去準優勝のみ(2012年・2016年)。初優勝に向けて頑張ります！



新潟
新潟
フェニックスファイヤーズ

今年は昨年の成績を超える。昨年の自分達に勝つ為に、集中していきます。応援よろしくお願ひします。アイシテル新潟！



山梨
オガルリープレ山梨

当クラブは2007年から13年間、「山梨キッカーズ」として参戦させていただき、チーム名を「オガルリープレ山梨」に変更して活動しています。「アットホームで、誰もが集える自由で開放的な居場所」となるよう、思いを込めました。全国からの選手・スタッフを募集しております！



長野
松本山雅B.F.C.

FC長野レイノボーを前身とする松本山雅B.F.C.は設立4年を経過しました。日本代表選手も輩出し、地域に益々浸透できるチームを目指し体験会等を開催しています。昨年に引き続き上位進出を目指します。



静岡
FCコレチーボ
静岡

ブラサカファミリーのみなさん！FCコレチーボ静岡です。練習や練習試合で積み重ねてきたチームワークで今大会も一戦一勝を目指して頑張ります！！応援よろしくお願ひします！



愛知
Mix Sense
名古屋

チーム結成10年目という節目を迎え、名古屋からブラインドサッカーの魅力を試合や体験会を通して発信し続けています。試合ができる喜びを感じながら最後まで諦めずに頑張ります！



岐阜
ミカレ岐阜
初出場

2018年設立以来、日本選手権出場を目標に活動してきました。たくさんの方に支えていただき、今年ようやくスタート地点に立つことができました。大会に出場できることに感謝しながら初勝利を目指します。



大阪
大阪ダイバンス

日本代表高橋裕人選手が所属。元日本代表の福本大輔選手、若い選手と共にゴリゴリなフットボールで勝利をつかみにいきます！



広島
A-pfeile広島BFC

2015年4月に広島で発足し、結成10年目！日本選手権で優勝したいと言えるチームになってきました！『勝ち』にこだわり、『楽しむ事』を忘れず、ガイドの奏でる広島名物お好み焼きの“へら”の音を頼りに GOALを狙います！



島根
島根
オロチビート浜田

島根県初のブラインドサッカーチームで、視覚障がい者だけでなく様々な分野から集まったチームです。昨年は、念願の公式戦での初得点&初勝利を勝ち取りました。今年もチーム一丸となって攻めの姿勢でビートを刻みます！



福岡
ラッキー
ストライカーズ福岡

ラッキーストライカーズ福岡は九州ブラインドサッカー協会とアビスパ福岡の支援を受け、アビスパ福岡のコーチ陣やチームのメンバー達とともにサッカーの競技性を探求し、楽しくボールを蹴っています。フィジカルの強さを特徴に高みを目指しています。



沖縄
琉球Agachi

琉球Agachiは、ブラインドサッカーを通して「ゆいまーくるる(相互扶助の精神)」をウチナンチュ(沖縄県民)がより発揮できる社会を創ることをビジョンに掲げ、活動しています！本大会では、勝利を掴めるよう楽しみながら練習の成果を発揮します！ユタシクニゲーサビラ！

アクサ 地域リーダープログラム with ブラサカ

地域で輝くブラサカチームが続々誕生!

ブラインドサッカーやロービジョンフットサルチームを全国に増やし、それぞれの地域で活動を推進するためのリーダーの育成を目的に2017年からスタートした「アクサ 地域リーダープログラム with ブラサカ」。本プログラムは、NPO法人日本ブラインドサッカー協会が主催し、アクサ・ホールディングス・ジャパン株式会社(前アクサ生命保険株式会社)がプログラムパートナーとしてサポートしています。これまでに全6期開催され、立ち上げ段階の12チーム(うち8チームが本大会に出場)、

既に活動している延べ14チーム(うち3チームが2度の受講)が受講してきました。参加者は、チームとして描くビジョン・ミッション・バリューに徹底的に向き合うと共に、独自にチーム運営できるマネジメントを身に付けるためのインプットと実践に取り組みます。また、そのノウハウを個人のスキルに留まらず、地域活動へ展開していくことでそれぞれの地域課題を解決できるような存在となることを目指しています。今回は既存チームと新しいチームの活動などについてご紹介します。

本プログラムを受講して出場するチームを紹介!

- Q1. チームのビジョンやミッションを教えてください。 Q2. ビジョンやミッションに込めている想いは? Q3. 地域LPを受講して変化したこと、達成したことは?
Q4. 今後、チームとして力を入れていきたいことは? Q5. ずばり本大会での目標は?

勝利を成長と発展につなげるチーム

A-pfeile 広島 BFC

2015年設立。10代から70代まで幅広い世代が活動しています。楽しむことはもちろん、広島のみならず日本一を目指しています。勝ち続けることで、多くの人から愛され、応援してもらえるチームとなれど信じています!応援よろしくお願いします!



A.1 A-pfeile広島BFCの、ビジョンは、「日本一のブラインドサッカーチームになる」で、ミッションは、「チームに関わる全ての人々が勝利の喜びと自らの成長を感じながら生きること」に寄与する。」です。

A.2 小中学生が多いチームのため、メンバー全員が分かりやすい共通の思いにしたいと考えました。学生にとっては勝つことが一番成長を感じられるシンプルな思いだとわかりましたし、大人の選手やスタッフもチーム全員で勝つことを一緒に達成したいと思えたため、このビジョン・ミッションとなりました。

A.3 チーム全員で同じ方向が向けたかなと思います。日本選手権でベスト4に入り、日本代表やトレセンにも選手を呼んでいただけるようになり、次のステップは何だろうと思っていた部分があった時期でした。日本一という目標ができ、またやろうという雰囲気が強くなったかなと思います。

A.4 強くなることで、多くの人にブラインドサッカーやA-pfeile広島BFCを知っていただく機会が増えると思っています。ですので、まずは練習環境を整え、練習を継続し、いい成績を取られるようになりたいと思っています。強くなることで、A-pfeile広島BFCにとってはJBFAのビジョン・ミッションに通じるとしています。

A.5 もちろん優勝ですが、まずはこれまでの最高成績である第19回大会の4位を上回る成績を目指したいと思います。

日本の真ん中「岐阜」から「全国」の舞台へ ミカーレ岐阜

2018年、協会主催の体験会をきっかけに設立。地域LPで学んだことを生かし、大会への出場を目指して試行錯誤しながら活動してきました。今回、念願の初出場です!



A.1 ビジョンは「視覚障がい者が輝く岐阜をつくることに寄与します。」ミッションは、1. 障がいの有無に関係なく人が出会う場所をつくります。2. 障がい児者が楽しくからだを動かせる機会を提供します。(育成) 3. ブラインドサッカーを通じて障がいへの理解を広め、岐阜のサッカーを盛り上げていきます。(競技・普及)

A.2 大前提はチームが「人が出会う場所」であるという想い。代表の高橋がブラサカと出会うきっかけとなったMixSense名古屋はいろいろな背景を持った人たちが集まったチームです。チームがなかったら出会うことはなかったですし、そういう場所は楽しいです。大人だけでなく子どもたちもいろいろな人に出会うことで成長し将来の選択肢が増えたら良いなと思っています。

A.3 地域LPで講師や他チームの皆さんから刺激をもらいながら取り組むことができ良かったと思います。地域LPを経て「同じ方向」を向いて活動することへの意識はより強くなりましたし、今でも大事にしています。目に見える成果がなかなか出ず何度も挫けそうになりましたが、今回このように出場することができてとても嬉しいです。

A.4 正直足りないところだらけなので力を入れたいことはたくさんありますが(笑)。チームがこれからも継続して活動していくために、新しいメンバーの発掘に力を入れていきたいと思っています。

A.5 まずは「1勝」が目標です。練習試合を経験して「勝ちへの意欲」がチームとして出てきているように思います。初勝利を持って帰ってこられるように頑張ります。

サッカーなら、どんな障害も超えられる。

日本の人口の7%は障がい者です。その障がいは多様で、ひとつとして同じ在り方はありません。障がいがあっても、いつでも、どこでも、サッカーを心から楽しめる環境を。彼ら彼女らが社会にある"障害"を超えていきつなげつくりやサポートも、サッカーならできる。私たちはそう信じて、日本障がい者サッカー連盟を推進していきます。

障がい者サッカー7団体は、日本サッカー協会と連携し、サッカー界の発展のために取り組みます。



切断障がい



脳性麻痺



精神障がい



知的障がい



電動車椅子



視覚障がい



聴覚障がい

日本アンブティサッカー協会

アンブティサッカーとは、足や腕に切断障がいのある人が行う7人制サッカーです。日常生活で使用する義足・義手を外してロフトランドクラッチで体を支えながらプレーします。

日本CPサッカー協会

CPサッカーとは、脳の損傷によって運動障害がある人が行うサッカーです。Cerebral(脳からの) Palsy(麻痺)の頭文字をとり、そう呼ばれています。

日本ソーシャルフットボール協会

ソーシャルフットボールとは、精神障がいのある人が行うフットサルやサッカーです。基本ルールは健常者と同じで、フットサルでは女子選手を含む場合に最大6人がコートでプレーするなど、一部特別ルールを採用しています。

日本ブラインドサッカー協会

ブラインドサッカーとは、視覚障がいのある人が行う5人制サッカーです。転がると音が出るボールを使用し、まわりの声を頼りにプレーします。2004年からパラリンピックの正式種目です。弱視者がプレーするロービジョンフットサルもあります。

日本知的障がい者サッカー連盟

知的障がい者サッカーとは、知的障がいのある人が行う11人制サッカーです。フットサルも行っています。ルールは健常者のサッカー・フットサルと同じで、プレーヤーの障がいの度合いにより試合時間が異なります。

日本ろう者サッカー協会

デフサッカーと呼ばれる、聴覚障がいのある人が行うサッカーです。サッカーとフットサルがあり、審判は笛だけではなくフラッグも使用するなど、視覚情報を頼りにプレーします。

日本電動車椅子サッカー協会

国際的にはパワーチェアフットボールと呼ばれ、自立歩行が困難な重度の障がいのある人が多く行う4人制サッカーです。手やアゴでジョイスティック型のコントローラーを操り、電動車椅子でプレーします。



一般社団法人 日本障がい者サッカー連盟

支援団体



日本サッカー後援会

JIFFパートナー



オープンアップグループ



Johnson & Johnson



住友ベークライト



東京海上日動

Nabtesco



Bewith

三菱商事